

令和5年度  
主要な施策の成果

京都府宇治田原町

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 第6次まちづくり総合計画策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	<p>6,177</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 7,023 補正予算額等 △ 846 合計 6,177〕</p>	<p>6,116,626</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>本町のまちづくりの基本的な指針である「第5次まちづくり総合計画」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間の満了を見据え、令和5・6年度の2か年にて本町の実情に応じたそれぞれの新しい次期計画を一体的に策定するため、諮問機関である宇治田原町まちづくり総合計画審議会の設置・運営をはじめ、各種住民意識調査、まちづくりカフェ(ワークショップ)等を開催し基本構想案を取りまとめた。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宇治田原町まちづくり総合計画審議会(外部諮問機関) 令和5年8月24日設置。第6次まちづくり総合計画等の策定にあたり審議を行う諮問機関として計18名の委員で構成。 会 長：谷口 知弘 氏(福知山公立大学教授) 開催数：3回</li> <li>○宇治田原町まちづくり総合計画策定会議(庁内検討組織) 計画構成、内容等を整理検討し、基本的な考え方を定める庁内組織。(副町長を議長に所属長以上で構成) 開催数：3回</li> <li>○各種住民意識調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民アンケート調査 高校生世代全員234人、19歳以上の住民1,300人のサンプリング調査、回収686枚(44.7%)</li> <li>② 中学生アンケート調査□ 維孝館中学校生徒への調査、回収195枚</li> <li>③ 小学生カード調査 田原、宇治田原小学校4～6年生児童 まちづくり授業にて配布、回収203枚</li> <li>④ 都市イメージ調査 京都府(本町除く)、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県在住の18歳以上登録モニター対象にWEB調査 スクリーニング調査10,000件、本調査515件</li> </ul> </li> <li>○まちづくりカフェ 公募による参加者、審議会委員、各種団体等メンバー参加によるワークショップ(2回開催)</li> </ul>	<p>企画財政課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																								
<p>6 ふるさと納税推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.59)</p>	<p>107,997</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 105,044 補正予算額等 2,953 合計 107,997〕</p>	<p>107,796,102</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>ふるさと納税を通じて、地域ブランドのPRとまちの知名度アップ、地域産業の活性化を推進するとともに、未来を担う子どもたちへの事業展開のための寄附増収を図った。</p> <p>さらに、地域資源の掘り起し・見える化により地域ブランド力を高めることで、シビックプライドの醸成に努めた。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国による制度改正(R5.10)に伴い、返礼品出品へのハードルが上がる中ではあったが、新規事業者の掘り起こしや既存事業者への提案などコミュニケーションを深め、60事業者・420品目超に拡充。 事業者説明会：R5.5.23、参加者9人</li> <li>○選ばれる返礼品・自治体をめざし、事業者と連携したCS(寄附者サービス)向上の取組(発送ラグの短縮、感想投稿の促進等)を実施。</li> <li>○サイト掲載内容のブラッシュアップや特色ある使いみち「未来挑戦隊チャレンジャー育成PROJECT(ミラチャレ)」を含めた発信など、訴求力を強化。</li> <li>○ミラチャレの取組などが評価され、ふるさとチョイスAWARD・自治体職員部門で大賞を受賞。</li> </ul> <p>(参考)主な経緯 <span style="float: right;">※H20制度開始</span></p> <table border="1" data-bbox="1037 1098 1921 1362"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額*</th> <th>返礼品数</th> <th>経過等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,151件</td> <td>21,585千円</td> <td>131品目</td> <td>▶4月～クレジットカード支払開始</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,684件</td> <td>42,775千円</td> <td>210品目</td> <td>▶11月～[さとふる]利用開始</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5,634件</td> <td>95,106千円</td> <td>240品目超</td> <td>▶9月～[拡充8サイト]利用開始</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8,119件</td> <td>137,615千円</td> <td>250品目超</td> <td>▶全12サイトへ拡充</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9,755件</td> <td>176,895千円</td> <td>320品目超</td> <td>▶全11サイトに集約</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11,012件</td> <td>208,157千円</td> <td>400品目超</td> <td>▶返礼品を400品目超に拡充</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>11,078件</td> <td>218,289千円</td> <td>420品目超</td> <td>▶全12サイトへ拡充</td> </tr> </tbody> </table> <p>*表中の金額は千円未満四捨五入</p>	年度	件数	金額*	返礼品数	経過等	H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶4月～クレジットカード支払開始	H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶11月～[さとふる]利用開始	R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶9月～[拡充8サイト]利用開始	R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶全12サイトへ拡充	R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶全11サイトに集約	R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶返礼品を400品目超に拡充	R5	11,078件	218,289千円	420品目超	▶全12サイトへ拡充	<p>企画財政課</p>
年度	件数	金額*	返礼品数	経過等																																								
H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶4月～クレジットカード支払開始																																								
H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶11月～[さとふる]利用開始																																								
R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶9月～[拡充8サイト]利用開始																																								
R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶全12サイトへ拡充																																								
R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶全11サイトに集約																																								
R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶返礼品を400品目超に拡充																																								
R5	11,078件	218,289千円	420品目超	▶全12サイトへ拡充																																								

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 (歳入歳出決算書 P.59)</p>	<p>1,656 (参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 1,656 補正予算額等 - 合計 1,656〕</p>	<p>1,644,290 (補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金〕</p>	<p>移住定住の推進に向け、「ハートのまち」他のコンセプトを積極的に打ち出すシティプロモーションを展開した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>◇移住定住プロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○路線バスに車外広告(フロントマスク)を掲載 [期間]令和6年3月1日～31日 [掲載台数]路線バス40台 [テーマ]移住定住×公共交通</li> <li>◇ハートのまちPR自治体との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ハートのまち」で交流する沖縄県南城市と相互の理解を深める(オンライン講座)を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年8月10日：ハートのまちで“つなぐ”交流講座① ～「琉歌」を通じて沖縄を学ぶ～</li> <li>・令和6年2月27日：ハートのまちで“つなぐ”交流講座② ～「緑茶」を通じて沖縄を学ぶ～</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◇その他取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>○府・振興局主催の移住セミナーへの参画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年7月30日：京都産業会館ホール/相談件数=3組3名</li> <li>・令和5年9月30日：グランフロント大阪/相談件数=2組2名</li> <li>・令和5年10月28日：イオンモール大阪ドームシティ 先輩移住者による活動[農作物販売]報告、本町PRほか</li> <li>・令和5年11月29日：オンラインイベント [参加]井手町、南山城村、木津川市、宇治田原町 [内容]移住を目的としたオンラインイベント</li> </ul> </li> <li>○インスタグラム公式アカウント「ujitawalike」による発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿数=37投稿(先輩移住者による魅力の発信等)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 地域防災対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.59)</p>	<p>9,316</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 14,666</p> <p>補正予算額等 △ 5,350</p> <p>合計 9,316</p>	<p>8,699,700</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独 (補助制度名) 防災・安全交付金</p>	<p>地域の防災対策に関する法令改正や感染症対策、要配慮者対策の充実等、更なる防災対策の強化を図るため、地域防災計画及び防災マップの改定を行った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>◇地域防災計画改定業務(※前回改定：平成27年度)</p> <p>現行計画策定以降に改正となった災害対策基本法等の改正内容や国の防災基本計画、京都府地域防災計画、その他国や府が作成している防災に関する各種ガイドラインの内容等を踏まえ、地域防災計画を改定した。</p> <p>○改定内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策基本法の改正を踏まえた修正 (避難情報の見直し等)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた修正 (避難所における感染症対策)</li> <li>・要配慮者対策の強化</li> <li>・土砂災害指定箇所追加</li> <li>・避難場所(宇治田原中央公園)の追加による修正</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改定業務に伴う防災会議の開催(2回)</li> </ul> <p>◇防災マップ改定業務(※前回改定：令和元年度)□</p> <p>府による土砂災害(特別)警戒区域(岩山・禅定寺)の指定や洪水浸水想定区域(大福川、滝ノロ川)の公表に伴い、防災マップを改定した。</p> <p>○改定内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難情報の名称変更による修正</li> <li>・土砂災害指定箇所(岩山・禅定寺)の追加による修正</li> <li>・洪水浸水想定区域(大福川、滝ノロ川)の公表による修正</li> <li>・ため池ハザードマップの追加による修正</li> <li>・役場位置の修正</li> <li>・避難場所の追加(宇治田原中央公園)による修正</li> </ul>	<p>総務課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 公共交通利用推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>3,874</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 4,050</p> <p>補正予算額等 △ 176</p> <p>合計 3,874</p>	<p>3,730,567</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金</p>	<p>町地域公共交通活性化協議会での審議のもと、町内外をつなぐ基幹公共交通機関である路線バスへの接続と維持確保のための地域公共交通の検証・利用促進のほか、地域公共交通計画に定める各交通施策の推進に取り組んだ。</p> <p>※ 町内の公共交通を区域運行「予約型乗合タクシー」と公共空白地有償運送「町営バスの再編・有償化」の二つの有償運行を併用した体系として運行「うじたわLIKEバス・タクシー」</p> <p>○地域公共交通活性化法に基づく法定協議会である町地域公共交通活性化協議会を開催(3回)</p> <p>○標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)への対応</p> <p>○運行の効果検証(OD調査の実施等)</p> <p>○利用促進・啓発活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要バス停での利用促進活動(計6回)</li> <li>・主要鉄道駅(JR宇治駅前)での利用促進活動(計1回)</li> <li>・高齢者セミナー「ことぶき大学」での講演会の開催 [テーマ]健康寿命が変わる公共交通を使ったおでかけ [講師]町地域公共交通活性化協議会 井上学会長</li> <li>・地域子育て支援センター、小・中学校との連携事業(計5回)</li> <li>・イベント、催事等での啓発活動(計2回)</li> <li>・SNSを活用した啓発活動(フォトコンテスト/投稿数=90作品)</li> </ul>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 「新しい地域公共交通」運行事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>15,303</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 15,303</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 15,303</p>	<p>15,190,672</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>市町村地域生活路線支援補助金 きょうと地域連携 交付金</p>	<p>地域住民の日常的な交通手段を確保するため、令和4年10月から道路運送法に基づき交通空白地有償運送として「うじたわLIKE<math>\text{♣}</math>(らいくはーと)バス」を、デマンド型(予約制)乗合タクシーとして「うじたわLIKE<math>\text{♣}</math>(らいくはーと)タクシー」を運行した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>◇うじたわLIKE<math>\text{♣}</math>(らいくはーと)バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乗車料金 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り)</li> <li>○運行日等 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く)</li> <li>○その他 スクールバスをダイヤに組み込み運行 (対象児童・生徒は無償、地域住民も混乗利用可)</li> <li>○利用実績 6,752人</li> </ul> <p>◇うじたわLIKE<math>\text{♣}</math>(らいくはーと)タクシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乗車料金 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り)</li> <li>○運行日 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ※旧コミュニティバス運行地域のみ、一部地域負担により休日も運行</li> <li>○運行区域 高尾全域、南、立川、岩山、郷之口の一部</li> <li>○利用実績 1,142人</li> </ul>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																			
<p>6 短・中距離高速バス路線検討調査費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>1,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 1,000 補正予算額等 - 合計 1,000〕</p>	<p>988,900</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金〕</p>	<p>令和5年度を計画始期とする「地域公共交通計画」に位置づけた4つの基本方針のうち「利便性の高い広域/町内の地域公共ネットワーク構築」に資するため、新名神高速道路等広域道路供用に合わせた新たな広域バス路線の形成について調査を進めた。</p> <p>◇各種調査〈概要〉</p> <table border="1" data-bbox="1032 517 1921 1070"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>方法</th> <th>数量</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">ニーズ調査</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">住民</td> <td>「宇治田原町第6次まちづくり総合計画策定に向けたアンケート調査」により調査</td> <td>配布数：1,534人 回収数：686人</td> <td>R5.9.13 ～10.4</td> </tr> <tr> <td>「第35回うじたわら・ハートのまちの商工祭」来場者へアンケート調査</td> <td>来場者：1,000人 対象数：109人</td> <td>R5.11.3</td> </tr> <tr> <td>町外在住者</td> <td>総計アンケートで把握(都市イメージ調査)※登録制アンケートモニター対象</td> <td>対象数：515人 ※過去3年以内に訪問経験のある方</td> <td>R5.9.15～19</td> </tr> <tr> <td>町営バス利用者</td> <td>町営バス車内でのヒアリング調査</td> <td>24人(町西部線8人・スクール線16人)</td> <td>R5.11.21</td> </tr> <tr> <td>町内立地事業所</td> <td>工業団地管理組合加盟事業所に対するアンケートで把握</td> <td>対象数：52社 回収数：36社</td> <td>R6.1.19～31</td> </tr> <tr> <td colspan="4">シーズ調査</td> </tr> <tr> <td>運行事業者</td> <td>山城南部エリアで乗合バスを運行する事業者へアンケート調査</td> <td>対象数：3事業者 回収数：3事業者</td> <td>R6.2.15～27</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇まとめ・現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の意向(ニーズ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都・大阪方面連絡高速バス」の利用意向では「町内在住の30歳未満」で特に多い。</li> <li>・「町外在住者」では、住民より利用頻度が低い傾向にある。</li> </ul> </li> <li>○「交通事業者」(シーズ)回答結果(※近隣乗合バス事業者)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社で新規路線設定に対し厳しい回答</li> <li>・「担い手(運転士等)不足」のほか「アウトレット需要量の不透明さ」が理由</li> </ul> </li> </ul>	項目	方法	数量	時期	ニーズ調査				住民	「宇治田原町第6次まちづくり総合計画策定に向けたアンケート調査」により調査	配布数：1,534人 回収数：686人	R5.9.13 ～10.4	「第35回うじたわら・ハートのまちの商工祭」来場者へアンケート調査	来場者：1,000人 対象数：109人	R5.11.3	町外在住者	総計アンケートで把握(都市イメージ調査)※登録制アンケートモニター対象	対象数：515人 ※過去3年以内に訪問経験のある方	R5.9.15～19	町営バス利用者	町営バス車内でのヒアリング調査	24人(町西部線8人・スクール線16人)	R5.11.21	町内立地事業所	工業団地管理組合加盟事業所に対するアンケートで把握	対象数：52社 回収数：36社	R6.1.19～31	シーズ調査				運行事業者	山城南部エリアで乗合バスを運行する事業者へアンケート調査	対象数：3事業者 回収数：3事業者	R6.2.15～27	<p>まちづくり 推進課</p>
項目	方法	数量	時期																																				
ニーズ調査																																							
住民	「宇治田原町第6次まちづくり総合計画策定に向けたアンケート調査」により調査	配布数：1,534人 回収数：686人	R5.9.13 ～10.4																																				
	「第35回うじたわら・ハートのまちの商工祭」来場者へアンケート調査	来場者：1,000人 対象数：109人	R5.11.3																																				
町外在住者	総計アンケートで把握(都市イメージ調査)※登録制アンケートモニター対象	対象数：515人 ※過去3年以内に訪問経験のある方	R5.9.15～19																																				
町営バス利用者	町営バス車内でのヒアリング調査	24人(町西部線8人・スクール線16人)	R5.11.21																																				
町内立地事業所	工業団地管理組合加盟事業所に対するアンケートで把握	対象数：52社 回収数：36社	R6.1.19～31																																				
シーズ調査																																							
運行事業者	山城南部エリアで乗合バスを運行する事業者へアンケート調査	対象数：3事業者 回収数：3事業者	R6.2.15～27																																				

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>7 JR奈良線高速化・複線化事業費補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>13,845</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 13,845 補正予算額等 - 合計 13,845〕</p>	<p>11,358,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>鉄軌道を利用する本町住民の利便性向上に資するため、京都府及び近隣市町と一体的に、西日本旅客鉄道株式会社が実施するJR奈良線の高速化・複線化第二期工事を支援した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○事業負担額(令和5年度分) 11,358,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施主体 西日本旅客鉄道株式会社</li> <li>・事業概要 JR藤森駅～JR宇治駅、JR新田駅～JR城陽駅間の複線化 JR六地蔵駅の構内改良</li> <li>・事業費及び負担割合 事業費：2,059,900千円 負担割合：JR西日本 2.0%、京都府 49.0% 関係市町 49.0%(うち、本町負担0.6%)</li> </ul> <p>〈参考〉</p> <p>○第二期事業開業記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：R5.3.19(日)午前10時～11時</li> <li>・会場：ホテルグランヴィア京都</li> </ul> <p>○第二期複線化による改良点等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均通勤時間帯の列車増発 京都～宇治間で1往復増発、同区間の列車2往復を城陽駅まで延長運転</li> <li>・所要時間の短縮 京都～城陽間の快速等最長28分⇒26分、普通最長47分⇒38分</li> <li>・運行ダイヤの安定性向上、駅構内改良等による利便性向上等 六地蔵駅の鉄道設備支障移転、旧ホーム撤去 等</li> </ul>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>9 地域公共交通事業者支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.61)</p>	<p>1,352</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 - 補正予算額等 1,352 合計 1,352〕</p>	<p>1,352,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〕</p>	<p>長引くコロナ禍による利用者の減少と原油価格高騰の影響による運行負担額の増加を余儀なくされている町内唯一の運行路線のバス事業者が、更なる減便をすることなく乗合バス事業を円滑に継続できるよう、路線バスを町外への主要な公共交通機関とする本町独自の支援策として、緊急かつ一時的な補助を行った。</p> <p>〈内容〉                  京都京阪バス㈱が原油価格高騰による影響を自社の営業努力(人件費、事務費等削減)と経営改善(運賃改定等)を図ってもなお生じる負担額相当額のうち、他自治体からの支援と重複しない路線距離該当分の支援を行った。</p> <p>○地域公共交通事業者支援事業費 補助額：1,352,000円                  町内を営業路線とする「新田辺宇治田原線」の本町内の年間営業走行距離をR2年度の10あたり走行距離で除し、10あたり燃料価格高騰単価差を乗じて算出。</p> <p>令和5年町内年間営業距離  <math>113,745.2\text{km} \div 2.60\text{km}/\ell \times (112.42\text{円}/\ell - 78.46\text{円}/\ell)</math> (※)                  (※)燃料価格高騰負担額相当差額                  (※)予算の範囲内で交付</p> <p>〈参考〉                  本補助金は、これまでにない原油価格高騰という事態を受けた緊急かつ一時的な事業者支援として実施。</p>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 障がい者基本計画等策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	<p>3,008</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 3,563〕</p> <p>〔補正予算額等 △ 555〕</p> <p>〔合計 3,008〕</p>	<p>2,911,860</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>障がい者の自立と社会参加を支援するための施策を総合的・計画的に支援するため、「宇治田原町第3期障がい者基本計画」及び、障害者総合支援法等に基づく障がい福祉サービス、地域生活支援事業等に関する年度ごとの計画とその確保のための方策等を定める「宇治田原町第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」を策定した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員会開催(委員10名) 合計5回開催</li> <li>○第3期障がい者基本計画及び第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定のためのアンケート調査の実施 期 間：令和5年7月28日～令和5年8月16日 配 布 数：256人 有効回答数：104人 有効回答率：40.6%</li> <li>○相談支援事業所等に対する聞き取り調査の実施</li> <li>○計画素案に係るパブリックコメント(住民意見募集)実施 期 間：令和6年1月9日～令和6年2月8日 意 見：0件</li> </ul>	<p>福祉課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 障がい者自立支援給付等事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	<p>304,078</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 276,652 補正予算額等 27,426 合計 304,078〕</p>	<p>304,002,936</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 自立支援給付費負担金(国・府) 自立支援医療費負担金(国・府) ほか7件〕</p>	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい者等が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい支援区分認定 〈認定調査19件、主治医意見書19件、審査会委託19件〉 521,700円</li> <li>○自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 〈1,618件〉 236,394,322円</li> <li>○自立支援医療給付 〈657件〉 10,875,425円</li> <li>○障がい児通所給付 〈664件〉 44,379,820円</li> <li>○補装具給付(額には町単費助成含む) 〈34件〉 4,727,084円</li> <li>○軽・中等度難聴児支援 〈2件〉 102,873円</li> <li>○障がい者福祉サービス等利用支援 (国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施) 〈448件〉 1,615,579円</li> <li>○その他(障がい福祉サービスシステム改正・保守委託料等) 5,386,133円</li> </ul>	<p>福祉課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 障がい者地域生活支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	<p>10,394</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 10,958 補正予算額等 △ 564 合計 10,394〕</p>	<p>9,994,665</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 地域生活支援事業 費等補助金〕</p>	<p>障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者生活支援センター委託 〈3事業所〉 1,730,000円</li> <li>○移動支援事業 〈26名、1,054時間利用〉 2,795,201円</li> <li>○日中一時支援事業 〈6名、293時間利用〉 298,250円</li> <li>○日常生活用具給付事業 〈72件〉 4,302,222円</li> <li>○訪問入浴サービス事業 〈1名、62回〉 868,992円</li> </ul>	<p>福祉課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																					
27 子育て支援医療費支給事業費  (歳入歳出決算書 P.67)	31,474  (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 26,801 補正予算額等 4,673 合計 31,474〕	31,368,227  (補助単独の別) 国・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span> ・単独  (補助制度名) 〔子育て支援医療費助成補助金〕	<p>令和5年9月診療分から京都府制度が拡充され、3歳以上小学校終了までの入院外の自己負担額上限額が1,500円から一律200円に引き下げられた。また、京都府制度の拡充に伴い、町独自制度の対象者を高校生等(満18歳に達した日以後最初の3月31日)まで拡充し、保護者の経済的負担の更なる軽減を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援医療扶助費 27,759,122円 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔府制度分 13,026,640円</li> <li>〔町制度分 14,732,482円</li> </ul> </li> <li>○子育て支援医療審査支払手数料 918,220円</li> <li>○その他事務費 2,690,885円</li> <li>○令和5年度末受給者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>府制度のみ(小学生まで) 710人</li> <li>府制度と町制度(中学生) 196人</li> <li>町制度のみ(高校生等) 198人</li> </ul> </li> </ul> <p>【制度拡充のイメージ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>6歳</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高校生世代(拡充)※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td colspan="9">200円</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>入院費用</td> <td colspan="9">府制度</td> <td rowspan="3">町制度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来費用</td> <td>1,500円超</td> <td colspan="9">府制度</td> </tr> <tr> <td>1,500円まで</td> <td colspan="7">町制度 → 府制度 ※1</td> <td>町制度</td> </tr> </tbody> </table> <p>*府制度拡充(※1)に伴い、町制度を高校生世代まで拡充(※2)</p>	区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学校	中学校	高校生世代(拡充)※2	保護者	200円									200円	入院費用	府制度									町制度	外来費用	1,500円超	府制度									1,500円まで	町制度 → 府制度 ※1							町制度	子育て支援課
区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学校	中学校	高校生世代(拡充)※2																																															
保護者	200円									200円																																															
入院費用	府制度									町制度																																															
外来費用	1,500円超	府制度																																																							
	1,500円まで	町制度 → 府制度 ※1							町制度																																																

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>36 住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	<p>26,035</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 - 〕</p> <p>〔補正予算額等 26,035 〕</p> <p>〔合計 26,035 〕</p>	<p>26,028,597</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国〕・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〕</p>	<p>エネルギー・食料品等への物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和5年度住民税非課税世帯等に対して「住民税非課税世帯等への価格高騰緊急支援給付金」を支給した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○支給対象世帯</p> <p>①令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯</p> <p>②家計が急変し、上記①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>○支給額</p> <p>1世帯あたり 30,000円</p> <p>〈実績〉</p> <p>○支給額等 23,940,000円</p> <p>非課税世帯 793世帯 / 854世帯 = 92.9%</p> <p>(返送率 = 93.6%)</p> <p>家計急変世帯 5世帯 / 6世帯 = 83.3%</p> <p>○事務費 2,088,597円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システム開発委託料</li> <li>・会計年度任用職員報酬</li> <li>・確認書等郵送料</li> <li>・振込手数料</li> <li>・事務用品代 等</li> </ul>	<p>福祉課</p>

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>37 住民税非課税世帯等への価格高騰緊急追加支援給付金事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	<p>68,211</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">68,211</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">68,211</td> </tr> </table>	当初予算額	-	補正予算額等	68,211	合計	68,211	<p>61,268,076</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</p>	<p>「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品等への物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和5年度住民税非課税世帯等に対して「住民税非課税世帯等への価格高騰緊急追加支援給付金」を支給した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○支給対象世帯</p> <p>①令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯</p> <p>②家計が急変し、上記①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯</p> <p>○支給額</p> <p>1世帯あたり 70,000円</p> <p>〈実績〉</p> <p>○支給額等 59,150,000円</p> <p>非課税世帯 843世帯 / 911世帯 = 92.5%</p> <p style="text-align: right;">(返送率 = 93.1%)</p> <p>家計急変世帯 2世帯 / 4世帯 = 50.0%</p> <p>○事務費 2,118,076円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電算システム開発委託料</li> <li>・会計年度任用職員報酬</li> <li>・確認書等郵送料</li> <li>・振込手数料</li> <li>・事務用品代 等</li> </ul>	<p>福祉課</p>
当初予算額	-									
補正予算額等	68,211									
合計	68,211									

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>12 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	<p>1,479</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 2,309 補正予算額等 △ 830 合計 1,479〕</p>	<p>1,441,925</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<span style="border: 1px solid black;">その他</span></p> <p>(補助制度名) 後期高齢者医療広域連合受託事業収入</p>	<p>住民の健康寿命を延伸し、住み慣れた地域で生きがいを持ち安心して暮らし続けるため、関係課連携のもと、専門職による高齢者の地域の通いの場へ訪問のほか、健康状態不明者等への個別支援により、高齢者の健康づくりを推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>◇個別支援(ハイリスクアプローチ)</p> <p>後期高齢者医療の情報から対象者の抽出を行い、電話や訪問で面談等を実施。必要な場合は保健指導や関係機関と連携し、適切な医療・支援につなぐ。</p> <p>①健康状態不明者等への面談 18名</p> <p>②電話での保健・栄養指導 10名</p> <p>◇通いの場への積極的関与等(ポピュレーションアプローチ)</p> <p>町内14か所の通いの場に医療専門職が関与し、健康教育・健康相談のほか、気軽に相談できる環境づくりを行った。</p> <p>①通いの場への訪問 計22回訪問</p> <p>②健康教育・相談、啓発 計6回実施</p> <p>③フレイル状態の把握・予防啓発 191名</p>	<p>健康対策課</p>

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 子ども・子育て支援事業計画策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>2,069</p> <p>(参考: 予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 2,208 補正予算額等 △ 139 合計 2,069〕</p>	<p>1,893,636</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔きょうと地域連携 交付金〕</p>	<p>現行の「第2期宇治田原町子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)」の計画期間が令和6年度で満了することから、令和5年度においては、子ども・子育て会議を通して、PDCAサイクルに基づく各事業の進捗状況について、点検・評価を行うとともに、第3期計画(令和7年度～令和11年度)の策定に向けてのニーズ調査を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども・子育て会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員10名</li> <li>・開催回数：3回</li> </ul> </li> <li>○子ども・子育て支援に関するニーズ調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象：就学前児童の保護者□ 小学生の保護者</li> <li>・調査期間：令和6年3月1日～3月18日</li> <li>・実施方法：郵送による配布及び回収</li> <li>・回収結果：①就学前児童の保護者 回収率42.2%(回収数106枚/配布数251枚) ②小学生の保護者 回収率37.5%(回収数119枚/配布数317枚)</li> </ul> </li> </ul> <p>〈参考〉 前回(H31年度)実施のニーズ調査の回収結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学前児童の保護者 回収率50.0%(回収数83枚/配布数166枚)</li> <li>②小学生の保護者 回収率31.8%(回収数74枚/配布数233枚)</li> </ul>	<p>子 育 て 支 援 課</p>

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																										
10 「パパママハッピープロジェクト」子育て家庭応援事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	601 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 601 補正予算額等 - 合計 601	486,389 (補助単独の別) 国・府・ <b>単独</b> (補助制度名)	平成29年度の「みんなで子育て・孫育て 家庭応援事業」を進展させ「親が幸せなら子どもも幸せ(パパママハッピー)」という理念のもと、父親・祖父母・地域の方々・次の親世代等、みんなで子育てに関わってもらい、子育て家庭を応援した。 〈内容〉 ○発達年齢に応じた親子で楽しめるからだ遊び体験 運動遊具を使った遊び <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概ね0～2歳の乳幼児と保護者</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> ボールを使った運動遊び <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table> ○各種講座の参加人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て講座</td> <td>44人</td> <td>51人</td> <td>32人</td> <td>47人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>妊婦体験・沐浴講座</td> <td>27人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ベビータッチ</td> <td><del>10人</del></td> <td>10人</td> <td>中止</td> <td>20人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>ママヨガ</td> <td>19人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>健康体操</td> <td>14人</td> <td>8人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>お茶教室</td> <td>17人</td> <td>4人</td> <td>中止</td> <td>23人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>アイメイク講座</td> <td><del>11人</del></td> <td><del>6人</del></td> <td><del>11人</del></td> <td>11人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> ※令和元年の「妊婦体験・沐浴講座」は「アロマ講座」との同時開催。	対象	参加人数	概ね0～2歳の乳幼児と保護者	34人	概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者	12人	対象	参加人数	概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者	44人	年度	R1	R2	R3	R4	R5	子育て講座	44人	51人	32人	47人	38人	妊婦体験・沐浴講座	27人	6人	4人	6人	12人	ベビータッチ	<del>10人</del>	10人	中止	20人	26人	ママヨガ	19人	6人	7人	10人	10人	健康体操	14人	8人	17人	19人	18人	お茶教室	17人	4人	中止	23人	34人	アイメイク講座	<del>11人</del>	<del>6人</del>	<del>11人</del>	11人	6人	子育て課 支援課
対象	参加人数																																																													
概ね0～2歳の乳幼児と保護者	34人																																																													
概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者	12人																																																													
対象	参加人数																																																													
概ね3～6歳(未就学)の幼児と保護者	44人																																																													
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																									
子育て講座	44人	51人	32人	47人	38人																																																									
妊婦体験・沐浴講座	27人	6人	4人	6人	12人																																																									
ベビータッチ	<del>10人</del>	10人	中止	20人	26人																																																									
ママヨガ	19人	6人	7人	10人	10人																																																									
健康体操	14人	8人	17人	19人	18人																																																									
お茶教室	17人	4人	中止	23人	34人																																																									
アイメイク講座	<del>11人</del>	<del>6人</del>	<del>11人</del>	11人	6人																																																									

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>14 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>5,818</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 -</p> <p>補正予算額等 5,818</p> <p>合計 5,818</p>	<p>5,357,949</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金</p> <p>子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金</p>	<p>食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○対象児童</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準日(令和5年3月31日)時点で18歳未満の児童(障がい児の場合、20歳未満)</li> <li>・令和5年4月から令和6年2月末までの新生児</li> </ul> <p>○支給対象</p> <p>上記の対象児童等を養育する父母等であり、令和5年度分の住民税(均等割)が非課税である者または、令和5年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった者</p> <p>○支給額</p> <p>児童1人あたり 50,000円</p> <p>①児童手当受給者 53件 99名分 4,950,000円</p> <p>②その他 1件 3名分 150,000円</p> <p>○支給方法</p> <p>①令和4年度「子育て世帯生活支援特別給付金」受給者 支給する旨の通知を行った後、一定期間内に受給拒否届出がなければ口座振込(申請不要)</p> <p>②その他(新生児等) 対象者による支給申請後、指定口座に振込</p> <p>○事務費 257,949円</p>	<p>子育て支援課</p>

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 保育所心を育む茶レンジャー育成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	<p>659</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 659〕</p> <p>〔補正予算額等 -〕</p> <p>〔合計 659〕</p>	<p>602,710</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔きょうと地域連携交付金〕</p>	<p>幼児期の発達において特定の大人が愛情豊かに応答的に関わることにより愛着関係を構築し、気持ちを自分自身でコントロールする力の基盤を形成した。</p> <p>子どもの心を育て、自信を持って様々なことに意欲的に取り組む心を育むため、保育士の更なる保育力の向上を図った。また、子どもたちが意欲的に取り組める保育環境を整えた。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○育児担当制研修 年1回 育児担当制保育の実施に向け、会計年度任用職員を含む全職員の研修機会を設け、理解を深めることでスキルアップと保育の充実を図った。</li> <li>○絵本読み聞かせ研修 年1回 0歳からの子どもの語彙習得のためフィンランド(=教育レベルや幸福度が高いとされる国)教育の第一人者の講師による研修を受け、絵本の読み聞かせを行う保育士のスキルアップを図った。</li> <li>○備品購入等 子どもたちが意欲的に活動するための環境を整える為にKAPLA等を購入し保育の充実を図った。</li> </ul> <p>〈成果〉</p> <p>子ども1人ひとりを大切に育てる保育を実践するために、研修を受け保育士のスキルアップを図った。育児担当制保育を実践することで、保育士との愛着関係を築き、自信を持って意欲的に取り組む心を育むようにした。</p> <p>また、備品を活用し児童の情操教育に役立てたり、遊びの空間を仕切ることで活動しやすい環境を整えることができた。KAPLA遊びでは、イメージしたものが形になる楽しさを体験することができていた。</p>	<p>子育て支援課</p>

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																				
5 保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費  (歳入歳出決算書 P.71)	674 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 674 補正予算額等 - 合計 674	654,910 (補助単独の別) 国・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span> ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携 交付金	<p>このまちだからこそできる飛びぬけた保育の推進を目的として、町立保育所に通所する児童を対象に、サーキット運動をはじめとした運動遊びを日常的に取り入れるとともに、体育指導の専門家による体育教室や町内サッカー指導者によるサッカー教室を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○サッカー教室 対象：4,5歳児</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>○体育教室 対象：5歳児</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サーキット運動(サーキット遊具：R2.10.23購入) 逆上がり 対象：2～5歳児(記録は3～5歳児)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">児童数</th> <th colspan="2">年度当初</th> <th colspan="2">年度末</th> </tr> <tr> <th>成功者数</th> <th>成功率</th> <th>成功者数</th> <th>成功率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>41人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> <td>1人</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>47人</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> <td>8人</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>41人</td> <td>20人</td> <td>48.8%</td> <td>29人</td> <td>70.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈成果〉 令和2年10月にサーキット遊具を導入して以後、毎日15分程度のサーキット遊びを活動の中に取り入れることで、身体の使い方が上手くなり、逆上がりや雲梯のできる児童が増加した。また、保育所職員が専門家による実践指導を受けることで、児童の意欲を高める関わり等の指導スキルアップを図った。</p>	年度	R1	R2	R3	R4	R5	回数	11	4	4	9	9	年度	R1	R2	R3	R4	R5	回数	16	14	6	14	14		児童数	年度当初		年度末		成功者数	成功率	成功者数	成功率	3歳児	41人	0人	0.0%	1人	2.4%	4歳児	47人	0人	0.0%	8人	17.0%	5歳児	41人	20人	48.8%	29人	70.7%	子育て 支援課
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
回数	11	4	4	9	9																																																			
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
回数	16	14	6	14	14																																																			
	児童数	年度当初		年度末																																																				
		成功者数	成功率	成功者数	成功率																																																			
3歳児	41人	0人	0.0%	1人	2.4%																																																			
4歳児	47人	0人	0.0%	8人	17.0%																																																			
5歳児	41人	20人	48.8%	29人	70.7%																																																			

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																													
2 うじたわらウォーキング(walk・筋・ing)応援事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	211 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 161 補正予算額等 50 合計 211〕	197,589 (補助単独の別) 国・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span> ・単独 (補助制度名) 健康増進法による 保健事業費補助金	健康寿命の延伸と生活の質の向上を図り、生活習慣病予防や次世代の介護予防につなげることを目的に、青年期・壮年期を対象に、運動を中心とした健康増進活動に興味・関心を持っていただき、自主的に運動する機会を増やす取組を行った。  (1)ノルディックウォーキング講座 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.6.8(木)</td> <td>10名</td> <td rowspan="5">専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技</td> </tr> <tr> <td>R5.7.6(木)</td> <td>12名 (託児2名)</td> </tr> <tr> <td>R5.10.19(木)</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>R5.11.11(土)</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>[参考] R5.11.26(日)</td> <td>34名</td> <td>宇治田原中央公園開園式で民間企業と連携しウォーキングイベントを共催</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ノルディックウォーキング 専用のポールを適切に使用してウォーキングすることで、一般的なウォーキングより30~40%高いカロリーを消費し、効果的な有酸素運動が可能。</p> (2)ちよいトレ筋活教室 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5.7.27(木)</td> <td>4名 (託児3名)</td> <td>町役場にて、健康運動看護師による家庭で継続的に取り組める体幹トレーニングを中心としたメニュー</td> </tr> <tr> <td>R5.9.14(木)</td> <td>5名</td> <td>町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニングのメニュー</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>9名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加人数	内 容	R5.6.8(木)	10名	専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技	R5.7.6(木)	12名 (託児2名)	R5.10.19(木)	8名	R5.11.11(土)	13名	延べ参加者数	43名	[参考] R5.11.26(日)	34名	宇治田原中央公園開園式で民間企業と連携しウォーキングイベントを共催	実施日	参加人数	内 容	R5.7.27(木)	4名 (託児3名)	町役場にて、健康運動看護師による家庭で継続的に取り組める体幹トレーニングを中心としたメニュー	R5.9.14(木)	5名	町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニングのメニュー	延べ参加者数	9名		健康対策課
実施日	参加人数	内 容																															
R5.6.8(木)	10名	専門の講師からノルディックポールの使い方や歩き方の指導を受けた後、町役場周辺でウォーキングの実技																															
R5.7.6(木)	12名 (託児2名)																																
R5.10.19(木)	8名																																
R5.11.11(土)	13名																																
延べ参加者数	43名																																
[参考] R5.11.26(日)	34名	宇治田原中央公園開園式で民間企業と連携しウォーキングイベントを共催																															
実施日	参加人数	内 容																															
R5.7.27(木)	4名 (託児3名)	町役場にて、健康運動看護師による家庭で継続的に取り組める体幹トレーニングを中心としたメニュー																															
R5.9.14(木)	5名	町トレーニングセンターにて、リハビリ専門職による筋肉トレーニング、トレーニング器具を利用したパワートレーニングのメニュー																															
延べ参加者数	9名																																

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>9 出産・子育て応援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>4,711</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 5,411</p> <p>補正予算額等 △700</p> <p>合計 4,711</p>	<p>4,212,450</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>出産・子育て応援交付金</p>	<p>妊娠届や出生届が提出された妊婦等に対し、出産育児関連用品等の購入に係る経済的支援を行うとともにニーズに即した相談等に応じる伴走型支援を行った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○支給対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届を提出した妊婦<input type="checkbox"/></li> <li>・出生届が提出された児童の母親または父親等</li> </ul> <p>○支給内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届提出 ⇒ 現金5万円<input type="checkbox"/></li> <li>・出生届提出 ⇒ 現金5万円</li> </ul> <p>○支給方法</p> <p>支給申請書を提出後、指定口座に振込</p> <p>○総支給額</p> <table border="1" data-bbox="1059 874 1872 1134"> <tr> <td></td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>出産応援支援金</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>子育て応援支援金</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>4,200,000円</td> </tr> </table> <p>○事務費 12,450円</p>		R5	出産応援支援金	55人	子育て応援支援金	29人	助成金額	4,200,000円	<p>子育て支援課</p>
	R5											
出産応援支援金	55人											
子育て応援支援金	29人											
助成金額	4,200,000円											

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>16 水道事業会計負担金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	<p>33,500</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">12,889</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">20,611</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">33,500</td> </tr> </table>	当初予算額	12,889	補正予算額等	20,611	合計	33,500	<p>33,499,821</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金</p>	<p><b>【物価高騰対策水道料金減免事業】</b>                  コロナ禍での原油価格・物価高騰に直面する水道利用者の負担軽減を図るため、水道料金の基本料金を減免した。</p> <p>〈内容〉                  減免対象の請求月                  ・令和5年8月、10月請求分                  偶数月検針地区                  (郷之口、南、荒木、高尾、銘城台)</p> <p>・令和5年7月、9月請求分                  奇数月検針地区                  (立川、岩山、禅定寺、湯屋谷、奥山田、緑苑坂)</p> <p>〈事業費〉 20,610,821円</p> <p><b>【その他】</b>                  飲料水供給事業及び簡易水道事業統合に係る負担金等</p> <p>〈事業費〉 12,889,000円</p>	<p>上下水道課</p>
当初予算額	12,889									
補正予算額等	20,611									
合計	33,500									

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課									
<p>1 新型コロナウイルス感染症予防対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>25,275</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 3,206 補正予算額等 22,069 合計 25,275〕</p>	<p>22,308,932</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金〕</p>	<p>新型コロナウイルスワクチンの全額公費負担による特例臨時接種期間が延長されたことを受け、国の方針に従い速やかに着実な接種体制を確保のうえ、京都府や綴喜医師会等と連携を図り、令和5年春開始接種・秋開始接種を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○接種内容等</p> <table border="1" data-bbox="1037 550 1921 810"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>接種対象期間</th> <th>対象者の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春開始接種(6回目)</td> <td>R5.5.8 ～ R5.9.19</td> <td>初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した65歳以上の高齢者、5歳以上65歳未満で基礎疾患のある者、医療従事者等</td> </tr> <tr> <td>秋開始接種(7回目)</td> <td>R5.9.20 ～ R6.3.31</td> <td>初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した5歳以上のすべての者</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接種体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団接種…役場庁舎(春5日間・秋7日間実施)</li> <li>※令和3年度～5年度の特例臨時接種期間における集団接種 〔初回接種(2回)・追加接種(2回)・オミクロン株対応接種・R5春接種・R5秋接種〕回数：計73日間</li> <li>・個別接種…かかりつけ医療機関等</li> </ul> <p>○接種率(R6.3月末現在)</p> <p>※ワクチン接種記録システム(VRS)より</p> <p>1回目…85.81% 2回目…85.42% 3回目…71.73% 4回目…50.14% 5回目…36.60% 6回目…24.61% 7回目…16.81%</p>	内容	接種対象期間	対象者の概要	春開始接種(6回目)	R5.5.8 ～ R5.9.19	初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した65歳以上の高齢者、5歳以上65歳未満で基礎疾患のある者、医療従事者等	秋開始接種(7回目)	R5.9.20 ～ R6.3.31	初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した5歳以上のすべての者	<p>健康対策課</p>
内容	接種対象期間	対象者の概要											
春開始接種(6回目)	R5.5.8 ～ R5.9.19	初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した65歳以上の高齢者、5歳以上65歳未満で基礎疾患のある者、医療従事者等											
秋開始接種(7回目)	R5.9.20 ～ R6.3.31	初回接種を完了し、前回接種後3月以上を経過した5歳以上のすべての者											

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 環境保全計画策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.75)</p>	<p>349</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 349〕</p> <p>〔補正予算額等 -〕</p> <p>〔合計 349〕</p>	<p>316,351</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>宇治田原町のめざすべき環境像を実現するため、住民・事業者・行政が協働で取り組むための基本理念や目標、本町の環境に関する施策の基本的な方向性を示し、環境を取り巻く諸課題に取り組むため「第3期環境基本計画(計画期間：令和6年度～令和15年度)」を策定した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○委員会開催□</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全計画策定委員会(委員10名) 計4回開催 第2期計画進捗状況評価 第3期計画原案作成 パブリックコメントの実施</li> <li>・環境審議会(委員7名) 計2回開催 第3期計画(案)に係る提言・答申</li> </ul> <p>○住民交流会(ワークショップ)の開催</p> <p>基調講演及び参加者を3グループに編成しワークショップを開催し、「宇治田原町の魅力・特色」「10年後の理想像・環境像」「地域・職場・家庭の取組」について意見を出し合いグループ発表を実施。</p> <p>○パブリックコメント(住民意見募集)実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：令和6年1月9日～令和6年2月8日</li> <li>・意見：1件</li> </ul> <p>※宇治田原町環境審議会 町長の諮問に応じ、環境の保全に関すること及びその他必要な事項に関することを審議</p> <p>※宇治田原町環境保全計画策定委員会 環境保全について関係機関等との調整を図るとともに、住民の意見を反映させるため協議及び検討を実施</p>	<p>建設環境課</p>

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 農業振興地域整備計画 改定事業費  (歳入歳出決算書 P.81)	1,995 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 2,797 補正予算額等 △ 802 合計 1,995〕	1,988,800 (補助単独の別) 国・府・ <span style="border: 1px solid black;">単独</span> (補助制度名)	「農業振興地域整備計画」については、都道府県が定める農業振興地域整備基本方針の変更、経済事情の変更その他情勢の推移等により必要が生じたときは遅滞なく変更することとされており、新名神高速道路、都市計画道路宇治田原山手線等の整備が進み、本町を取り巻く状況が急速に変化していることを踏まえ、令和5年度・6年度の2か年で本町計画の改定業務を行う。  〈内容〉 ○基礎調査 ○農用地区域の除外編入等変更(素案)の作成	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)5 農地費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 ため池管理事業費  (歳入歳出決算書 P.81)	1,562 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,800 補正予算額等 △ 238 合計 1,562〕	1,540,000 (補助単独の別) <span style="border: 1px solid black;">国</span> ・府・単独 (補助制度名) 農村地域防災減災事業補助金	「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」により指定された防災重点農業用ため池について、ハザードマップを作成した。  〈内容〉 ○ため池ハザードマップ作成 1池(隠谷東池)	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 林道整備等事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.83)</p>	<p>12,128</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 12,298 補正予算額等 △ 170 合計 12,128〕</p>	<p>11,050,836</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交 付金 林道改良事業補助 金〕</p>	<p>林道の安全性・走行性や防災機能の向上を図るため、林道の改良や維持管理を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>◇地方創生道整備推進交付金事業(林道分)</p> <p>○測量設計業務委託(1号鷲峰山線) 2,090,000円 ・設計概要：排水路改良</p> <p>○道路改良工事(1号鷲峰山線) 6,971,800円 ・工事概要：排水路改良</p> <p>◇その他の林道維持管理</p> <p>○側溝清掃委託料等 1,181,036円</p> <p>○林道維持修繕事業補助金 808,000円(3件)</p>	<p>産業観光課</p>

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 森林経営管理事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.83)</p>	<p>12,952</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 12,952 補正予算額等 - 合計 12,952〕</p>	<p>12,951,400</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・〔単独〕</p> <p>(補助制度名)</p>	<p>平成31年4月施行の森林経営管理法に基づき、新たに森林所有者・林業者・町による森林の経営管理を確保するため、森林所有者への意向調査、現地調査、経営管理権集積計画の作成及び森林整備を行った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意向調査対象者：32名</li> <li>○経営管理権集積計画作成件数：8件</li> <li>○森林整備(間伐)：10.05ha</li> </ul>	<p>産業観光課</p>
<p>6 林道整備等事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.85)</p>	<p>8,219</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 8,219 補正予算額等 - 合計 8,219〕</p>	<p>7,835,300</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国〕・〔府〕・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔地方創生道整備交付金 林道改良事業補助金〕</p>	<p>林道の安全性・走行性や防災機能の向上を図るため、林道の改良を実施した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地方創生道整備推進交付金事業(林道分) <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路改良工事(御林山線) <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事概要：法面改良、排水路改良</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>産業観光課</p>

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
<p>1 有害鳥獣対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.85)</p>	<p>4,248</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,248</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,248</td> </tr> </table>	当初予算額	4,248	補正予算額等	-	合計	4,248	<p>4,024,875</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>野生鳥獣被害総合対策事業補助金</p>	<p>有害鳥獣による農林作物等の被害が増加する中、被害の軽減及び防除対策が必要なことから、有害鳥獣駆除及び被害防止の各種対策に取り組み、被害の縮小に努めた。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○有害獣駆除事業 1,571,900円</p> <p>野生鳥獣による農林作物被害に対し、綴喜郡猟友会宇治田原支部に捕獲委託を行い、有害獣の駆除を行った。</p> <p>(駆除の実績) (単位：頭)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サル</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>56</td> <td>35</td> <td>76</td> <td>82</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>○宇治田原町有害鳥獣対策協議会補助金 1,500,000円</p> <p>○狩猟免許取得助成 70,000円(1件)</p> <p>○防護柵設置補助 87,000円(2件)</p> <p>○その他追い払い道具等 795,975円</p>	種別	R1	R2	R3	R4	R5	サル	2	2	4	0	1	イノシシ	36	2	0	9	13	シカ	56	35	76	82	62	<p>産業観光課</p>
当初予算額	4,248																																	
補正予算額等	-																																	
合計	4,248																																	
種別	R1	R2	R3	R4	R5																													
サル	2	2	4	0	1																													
イノシシ	36	2	0	9	13																													
シカ	56	35	76	82	62																													

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 お茶の京都観光まちづくり推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.87)</p>	<p>5,182</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 5,651</p> <p>補正予算額等 △ 469</p> <p>合計 5,182</p>	<p>4,833,477</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金 きょうと地域連携交付金</p>	<p>観光振興計画に位置付けられた魅力創出に関する取組等の実施、観光情報発信の充実に向けた観光ポータルサイトの運営を行った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○おうちで利き茶大会～茶香服への挑戦～ 応募者数：914名 当選者数：200名 ※ふるさとまつり実行委員会助成金 800,000円</p> <p>○「家康伊賀越えの道」関連事業 884,868円 ・「家康伊賀越えの道」ウォーキング R5.7.15/7.22 ・「家康伊賀越えの道」展/大河ドラマ「どうする家康」パネル展 R5.8.22～8.28 ・「家康伊賀越えの道」講演会 R5.12.2</p> <p>○「お茶のはっぴ」更新 540,375円</p> <p>○観光ポータルサイト保守・運営委託料 360,000円</p> <p>○おもてなし推進補助金 100,000円(1件)</p> <p>○お茶の京都DMO関係事業 ・「家康伊賀越えの道」歴史ウォーキングツアー R5.10.15/11.11 ・宇治やんたんライナー&amp;やんたんライナーコネクトの運行(土・休日のみ運行) 宇治やんたんライナー R5.10.7～12.10 コネクト R5.4.1～5.7/6.3～9.18/10.7～12.10 ※お茶の京都DMO分担金 1,364,000円</p> <p>○その他観光啓発PR事業等 784,234円 ・京都タワー、うぐいす宇治田原幼稚園連携事業 ・PR広告掲出事業(京阪「丹波橋駅」) ・パンフレット印刷等</p>	<p>産業観光課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)1 道路橋梁総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 宇治田原山手線整備促進住民会議助成金</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 89)</p>	<p>600</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">600</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">600</td> </tr> </table>	当初予算額	600	補正予算額等	-	合計	600	<p>600,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">単独</span></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議に活動助成金を交付するとともに、その活動を支援した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○四役会(R5. 5. 22) <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会の日程及び議案等について</li> </ul> </li> <li>○役員会(R5. 6. 9) <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の一部欠員に伴う補充選任について</li> <li>・令和4年度事業報告について</li> <li>・令和4年度収入支出決算について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度収入支出予算について</li> </ul> </li> <li>○「宇治田原山手線促進だより」発行(R5. 7)</li> <li>○一斉啓発活動(R5. 8. 28：役場庁舎前宇治田原山手線) <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各所に横断幕とのぼり旗を設置</li> </ul> </li> <li>○京都府知事へ要望書を提出(R5. 11. 6：京都府庁) <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望書を提出</li> </ul> </li> </ul> <p>〈経過〉</p> <p>平成26年2月10日設立。町内での一斉啓発活動、京都府知事への要望活動等を実施している。</p>	<p>まちづくり 推進課</p>
当初予算額	600									
補正予算額等	-									
合計	600									

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 宇治田原山手線整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>115,143</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 111,692</p> <p>補正予算額等 3,451</p> <p>合計 115,143</p>	<p>107,111,583</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>地方創生道整備交付金</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の整備促進を図った。</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内) L=420m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画線設置工事 500,500円</li> <li>・付帯工事 4,175,600円</li> <li>・開通式会場設営等業務委託料 1,851,586円</li> </ul> <p>○宇治田原山手線(立川・岩山地内) L=2,100m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府施行都市計画事業市町村負担金 11,030,000円</li> </ul> <p>○宇治田原山手線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 89,459,811円</li> <li>※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路(株)へ工事施工委託。</li> </ul> <p>○事務費等 94,086円</p> <p>〈経過〉</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R1 道路用地鑑定評価業務</li> <li>R2 公有財産購入 3名</li> <li>R2～R5 京都府へ工事委託</li> <li>R5.6.18 供用</li> </ul> <p>○宇治田原山手線(立川・岩山地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R4～ 京都府施行都市計画事業市町村負担金</li> </ul> <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 詳細設計事務</li> <li>H27 物件調査事務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(3名)</li> <li>H28 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務、公有財産購入(3名)</li> <li>H29 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気設備移転補償</li> <li>H30 電気設備移転補償</li> <li>H29～R7 西日本高速道路(株)への工事委託</li> <li>R2 禅定寺工事しゅん工</li> <li>R5 緑苑坂～町道禅定寺奥山田線間の供用</li> </ul>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線)  (歳入歳出決算書 P.91)	131,000 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 131,000 補正予算額等 - 合計 131,000〕	6,155,600 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、道路詳細設計を基に道路用地調査等を実施し、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。  〈内容〉 ○土地鑑定評価 1,372,800円 ○物件調査(移転補償費算定) 2件 3,902,800円 ○用地調査(所有者不明土地等の整理) 880,000円	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 町道新設改良事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>97,757</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 98,467 補正予算額等 △ 710 合計 97,757〕</p>	<p>49,145,964</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交 付金 道路事業費補助金〕</p>	<p>住民生活の利便性・安全性・快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。</p> <p>〈工事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○郷之口高尾線法面改良工事(その2) 落石防止網工・法面工 12,380,500円</li> <li>○排水路改良工事 側溝工 9,405,000円</li> <li>○木元線道路改良工事 側溝工 3,337,400円</li> <li>○2の2号線道路改良工事(その1) 法面工等 7,390,000円</li> <li>○道路・水路改修工事(1) 側溝工等 2,449,700円</li> <li>○道路・水路改修工事(2) 側溝工等 6,048,900円</li> <li>○岩山立川線歩道整備工事(その3) 防護柵設置工・舗装工等 7,590,700円</li> </ul> <p>〈物件補償〉 374,000円</p> <p>〈その他事務費〉 169,764円</p>	<p>建設環境課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 道路施設長寿命化修繕事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>25,096</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 25,096 補正予算額等 - 合計 25,096〕</p>	<p>22,287,400</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 道路事業費補助金〕</p>	<p>道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。</p> <p>◇橋梁長寿命化修繕 〈工事〉 ○嘉納橋橋梁修繕工事(その2) 橋梁補修工 2,459,200円</p> <p>◇道路舗装修繕 〈工事〉 ○1の10号線他舗装修繕工事 舗装工 9,175,100円</p> <p>〈業務委託〉 ○宇治田原町管理橋梁定期点検業務 5,006,700円</p> <p>○長寿命化修繕計画(橋梁)改定業務 5,636,400円</p> <p>〈その他事務費〉 10,000円</p>	<p>建設環境課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 宇治田原山手線整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>31,233</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 31,233</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 31,233</p>	<p>25,752,533</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>地方創生道整備交付金</p>	<p>都市計画道路宇治田原山手線の整備促進を図った。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内) L=420m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路工事施工委託料 14,647,000円</li> <li>※一般国道307号(宇治田原山手線)道路整備事業に関連する工事として京都府へ工事施工委託。</li> </ul> <p>○宇治田原山手線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 11,105,533円</li> <li>※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路(株)へ工事施工委託。</li> </ul> <p>&lt;経過&gt;</p> <p>○宇治田原山手線(贄田・立川地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R1 道路用地鑑定評価業務</li> <li>R2 公有財産購入 3名</li> <li>R2～R5 京都府へ工事委託</li> <li>R5.6.18 供用</li> </ul> <p>○宇治田原山手線(立川・岩山地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R4～ 京都府施行都市計画事業市町村負担金</li> </ul> <p>○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H26 詳細設計事務</li> <li>H27 物件調査事務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(3名)</li> <li>H28 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務、公有財産購入(3名)</li> <li>H29 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気設備移転補償</li> <li>H30 電気設備移転補償</li> <li>H29～R7 西日本高速道路(株)への工事委託</li> <li>R2 禅定寺工事しゅん工</li> <li>R5 緑苑坂～町道禅定寺奥山田線間の供用</li> </ul>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線)(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>14,034</p> <p>(参考:予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 14,034</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 14,034</p>	<p>13,434,300</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>地方創生道整備交付金</p>	<p>宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であることから、宇治田原山手線道路設計の進捗に併せ、引続き道路詳細設計を実施することにより、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○設計延長 L=390m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計(本線ルート)</li> <li>・詳細設計(工事用道路ルート)</li> <li>・取付道路・大型用排水路設計</li> <li>・交差点設計</li> <li>・ボーリング調査</li> </ul>	<p>建設環境課</p>
<p>7 町道新設改良事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>45,908</p> <p>(参考:予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 45,908</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 45,908</p>	<p>45,908,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>地方創生道整備交付金</p> <p>道路事業費補助金</p>	<p>住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。</p> <p>〈工事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路・水路改修工事(3) 側溝工他 4,891,900円</li> <li>○郷之口高尾線法面改良工事(その2) 法面工 24,065,800円</li> <li>○岩山立川線歩道整備工事(その2) 側溝工 7,494,300円</li> <li>○岩山立川線歩道整備工事(その3) 舗装工他 9,456,000円</li> </ul>	<p>建設環境課</p>

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>8 道路施設長寿命化修繕事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	<p>9,151</p> <p>(参考: 予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 9,151 補正予算額等 - 合計 9,151〕</p>	<p>9,150,700</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 道路事業費補助金〕</p>	<p>道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。</p> <p>◇橋梁長寿命化修繕 〈工事〉 ○嘉納橋橋梁修繕工事(その2) 橋梁補修工 8,246,000円</p> <p>〈業務委託〉 ○宇治田原町管理橋梁定期点検業務 904,700円</p>	<p>建設環境課</p>

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 空家等総合対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>1,557</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 2,757</p> <p>補正予算額等 △ 1,200</p> <p>合計 1,557</p>	<p>919,548</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金</p>	<p>令和4年度に策定した「第2期空家等対策計画」に基づき、町内の空家等の適切な管理と利活用、移住定住促進するための総合的な取組を推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○宇治田原町空家バンク運営 平成28年度に(公社)京都府宅地建物取引業協会と締結した協定に基づくマッチングを推進。(令和5年度0件掲載。延べ18件掲載・12件成約、30人が移住。)</p> <p>○「うじたわらいく」お試し住宅 平成30年度に南区内の空家を活用・整備し開設した「うじたわらいく」お試し住宅を運営。(R5年度入居2世帯。延べ16世帯が入居、うち2世帯が移住。)</p> <p>○管理不全空家等除却支援事業 平成30年度創設の管理不全空家等除却支援事業補助金により町内の危険な空家について、所有者による除却を促した。</p> <p>〈推進体制等〉</p> <p>○宇治田原町空家等対策協議会(計10名) R5.11.28(火) 空家等特措法に基づく協議会を継続設置・運営。</p> <p>○京都司法書士会との連携 令和元年度に「空家対策に係る連携協定」を締結。空家所有者等への情報提供と個別相談支援の体制を確保。</p>	<p>まちづくり 推進課</p>

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>9 空家等総合対策事業費 (繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>800</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">800</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">800</td> </tr> </table>	当初予算額	800	補正予算額等	-	合計	800	<p>800,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>社会資本整備総合 交付金</p>	<p>令和4年度に策定した「第2期空家等対策計画」に基づき、町内の空家等の適切な管理と利活用、移住定住促進するための総合的な取組を推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○管理不全空家等除却支援事業 800,000円</p> <p>平成30年度創設の管理不全空家等除却支援事業補助金により町内の危険な空家について、所有者による除却を促した。(令和5年度1件実績あり。延べ10件交付。)</p>	<p>まちづくり 推進課</p>
当初予算額	800									
補正予算額等	-									
合計	800									

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)2 公園費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 新市街地都市公園整備事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.93)</p>	<p>39,090</p> <p>(参考: 予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 39,090 補正予算額等 - 合計 39,090〕</p>	<p>30,379,187</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合交付金〕</p>	<p>住民の日常的な公園機能とあわせて、災害時の緊急避難場所ともなる防災機能を有する都市公園を役場庁舎隣接地に整備した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宇治田原中央公園舗装工事 18,330,400円</li> <li>○宇治田原中央公園植栽工事(その2) 8,963,900円</li> <li>○宇治田原中央公園開園イベント会場設営等業務委託 2,000,900円</li> <li>○上水道設置事業分担金、公共下水道事業受益者負担金 850,000円</li> <li>○事務費等 233,987円</li> </ul> <p>〈経過〉</p> <p>H29 基本計画(案)に対するパブリックコメント実施、基本計画策定、調整池設計業務、地質調査業務、土壌調査業務</p> <p>H30 用地測量業務、公有財産購入(4名)、都市公園用地鑑定評価業務、調整池整備工事、基本設計・実施設計策定業務、既設井戸能力調査業務</p> <p>R1 公有財産購入(1名)、耐震性貯水槽設置工事</p> <p>R2 敷地造成、建築確認申請</p> <p>R3 敷地造成、建築工事、水路等整備工事、電気設備工事</p> <p>R4 敷地造成、建築工事、植栽工事、防災設備工事、施設整備工事</p>	<p>まちづくり推進課</p>

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>1 高規格救急自動車更新事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.97)</p>	<p>34,100</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">42,889</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">△ 8,789</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">合計</td> <td style="text-align: right;">34,100</td> </tr> </table>	当初予算額	42,889	補正予算額等	△ 8,789	合計	34,100	<p>34,100,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>きょうと地域連携 交付金</p>	<p>京田辺市消防本部宇治田原分署の救急自動車を更新し、救急業務の充実を図った。</p> <p>〈内容〉                      現行の救急自動車は、R4年12月末で走行距離119,000kmを超え、稼働後9年を経過していたことから、京田辺市消防本部が定める高規格救急車の更新基準に従い、緊急時における安心・安全を確保するため、救急自動車(装備含む)の更新を行った。</p> <p>〈仕様〉                      高規格救急自動車 4WD 1台</p> <p>【装備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気道確保用資機材</li> <li>・輸液用資機材</li> <li>・血中酸素飽和度測定器</li> <li>・呼吸・循環管理用資機材</li> <li>・観察用資機材</li> <li>・搬送資機材</li> <li>・創傷保護・固定用資機材</li> <li>・その他処置用資機材</li> </ul>	<p>総務課</p>
当初予算額	42,889									
補正予算額等	△ 8,789									
合計	34,100									

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>3 小中一貫教育推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	<p>40</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">251</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">△ 211</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">合計</td> <td style="text-align: right;">40</td> </tr> </table>	当初予算額	251	補正予算額等	△ 211	合計	40	<p>40,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">単独</span></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>維孝館学園において、義務教育9年間にわたる系統的、継続的で充実した特色ある小中一貫教育に向け、事業の推進を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 維孝館学園小中一貫部会(学園企画会議)を中心に小小連携、小中連携を推進した。</li> <li>○ 義務教育9年間を見据え小学校、中学校の円滑な接続を図るための取組みを行った。</li> <li>○ 教職員研修の充実を図るとともに、義務教育9年間を見据えた学習・指導の充実を図った。</li> <li>○ ICTを利活用した小中一貫教育の推進を図った。□</li> <li>○ おこしやすAC戦術分析官 龍岡歩氏を講師に、教職員夏季研修会で「情報分析に基づく計画立案の重要性について」研修を実施した。</li> </ul>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	251									
補正予算額等	△ 211									
合計	40									

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 寺子屋「うじたわら学び塾」運営事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	<p>350</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 389</p> <p>補正予算額等 △ 39</p> <p>合計 350</p>	<p>249,564</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>きょうと地域連携交付金</p>	<p>小中学生を対象に教育環境の充実や郷土愛の醸成を図り、地域ぐるみ・町ぐるみによる学びの向上を推進するため、教職員退職者や有識者及び次代を担う大学生など幅広い年齢層のスタッフのもと、夏・冬休み等に寺子屋「うじたわら学び塾」を開講し、継続的に人がつながる学びの場を創出した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○夏季事業 「英語」「漢字」「夏の学び」をテーマに7講座を実施 延べ参加者 194人</p> <p>○冬季事業 「英語」「漢字」「冬の学び」「運動スキル」をテーマに7講座を実施 延べ参加者 175人</p> <p>○運営協議会を4回開催</p>	<p>学校教育課</p>
<p>5 地域部活動推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.99)</p>	<p>480</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,275</p> <p>補正予算額等 △ 795</p> <p>合計 480</p>	<p>390,468</p> <p>(補助単独の別)</p> <p><span style="border: 1px solid black;">国</span>・<span style="border: 1px solid black;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>京都府運動部活動の地域移行に向けた実証事業委託金</p>	<p>スポーツ庁と文部科学省の構想の下、生徒の豊かなスポーツ及び文化芸術活動の実現と、教職員の働き方改革の観点から、学校と地域との連携による部活動の地域移行を段階的に進めた。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○中学校部活動指導の段階的な地域移行を進めるため、企画委員会を開催。</p> <p>○11月からバレー部の休日部活動指導を、教職員から地域の指導者へ移行した。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
1 高校生通学費補助金  (歳入歳出決算書 P.99)	20,360 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 20,360 補正予算額等 - 合計 20,360〕	14,433,018 (補助単独の別) 国・府・ <span style="border: 1px solid black;">単独</span> (補助制度名)	高校等にバス通学する生徒の保護者の負担軽減を図るため、通学費の一部助成を行った。  〈内容〉 ○補助対象者数及び補助金額 <table border="1" data-bbox="1037 486 1921 746"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請者実人数</td> <td>203人</td> <td>183人</td> <td>173人</td> </tr> <tr> <td>合計補助金額</td> <td>17,383,700円</td> <td>15,459,500円</td> <td>14,407,600円</td> </tr> <tr> <td>郵送料</td> <td>32,000円</td> <td>36,000円</td> <td>25,418円</td> </tr> </tbody> </table> ○補助率 ①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・保護者が住民税非課税) ②学期定期券購入額相当分の1/2を補助 (定期券あり・保護者が住民税課税) ③学期定期券購入額相当分の1/4を補助 (定期券なし)		R3	R4	R5	申請者実人数	203人	183人	173人	合計補助金額	17,383,700円	15,459,500円	14,407,600円	郵送料	32,000円	36,000円	25,418円	学校教育課
	R3	R4	R5																	
申請者実人数	203人	183人	173人																	
合計補助金額	17,383,700円	15,459,500円	14,407,600円																	
郵送料	32,000円	36,000円	25,418円																	

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 家庭学習等支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>1,260</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,365</p> <p>補正予算額等 △ 105</p> <p>合計 1,260</p>	<p>1,225,490</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>児童の学力向上のため、学校教員向けの「学校授業教育研究」、児童向けの「オンライン家庭学習支援」の2つの支援を実施し、学校・家庭と、異なる場での学力向上につながる事業を行った。</p> <p><b>【学校授業教育研究】</b> 若手教員を主な対象として、指導力向上のための各種取り組みを実施。令和5年度も兵庫教育大学名誉教授の長澤教授に依頼。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育委員会主催の小学校への指導主事訪問実施の際に、アドバイザーの立場で参加していただき、授業や学校運営に係る講習を行った。</li> <li>・小学校の研究授業に招き、授業についての指導講評を行った。</li> <li>・全国学力状況調査の結果を受けて、分析や周知方法について教務主任への研修を実施した。</li> </ul> <p><b>【オンライン家庭学習支援】</b> 民間教育機関に業務委託し、パソコンやタブレットを用い、少人数指導型のオンライン授業を提供した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語・算数の2教科、各120分を15回</li> <li>・パソコンやタブレットを用いZoomで受講</li> <li>・参加者負担 1人10,000円</li> <li>・参加人数 小学生10人</li> </ul> <p>全授業終了後に行ったアンケートでは、全員が「とても満足している」「少し満足している」と回答されており、成績についても「上がった」「どちらかといえば上がった」という回答が100%という結果であった。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
<p>4 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費 (歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>778 (参考：予算現額内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当初予算額</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">778</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">778</td> </tr> </table>	当初予算額	778	補正予算額等	-	合計	778	<p>682,600 (補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独 (補助制度名) 子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>小学校の学習において、家庭学習を含め児童の自主的・積極的な学びを応援。児童1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。</p> <p>〈内容〉 ○AIドリルの活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の習熟度に応じて、基礎・基本の定着から表現力アップまで幅広く、個別最適化された学習環境を提供</li> <li>・回答の正誤を自動で判断。誤った問題をピックアップし、解き直しによるつまずき解消へ</li> <li>・やる気を引き出す仕組み。学習意欲を促進し、振り返りや自ら学習することを習慣化へ</li> <li>・学習履歴をデータ化。学習状況・つまずきがひと目で把握できることにより、教職員による効果的できめ細やかな個別指導へ</li> </ul> <p>○導入台数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち田原小学校</td> <td style="text-align: right;">393台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち宇治田原小学校</td> <td style="text-align: right;">188台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち宇治田原小学校</td> <td style="text-align: right;">205台</td> </tr> </table>	うち田原小学校	393台	うち宇治田原小学校	188台	うち宇治田原小学校	205台	<p>学校教育課</p>
当初予算額	778															
補正予算額等	-															
合計	778															
うち田原小学校	393台															
うち宇治田原小学校	188台															
うち宇治田原小学校	205台															

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>5 先端プログラミング教育推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>622</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>622</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>622</td> </tr> </table>	当初予算額	622	補正予算額等	-	合計	622	<p>621,016</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>学習指導要領の改正によりプログラミング教育が必修とされ、社会の様々なところでDX化が進展するなか、授業においてSTEAM教育(※1)を提供することにより、Society5.0に対応できる人材の育成を行った。</p> <p>〈内容〉 プログラミングソフト「Scratch」を使いロボットによる自動車の自動運転をプログラミングするなどにより、社会の諸課題についてプログラミングの必要性を知り、プログラミング的思考を養った。</p> <p>〈対象者〉 田原小学校・宇治田原小学校6年生</p> <p>〈実施方法〉 プログラミング教室運営会社に委託実施</p> <p>※1「STEAM教育」 "science, technology, engineering and mathematics" すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	622									
補正予算額等	-									
合計	622									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 家庭学習等支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	<p>1,204</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 1,309</p> <p>補正予算額等 △ 105</p> <p>合計 1,204</p>	<p>1,186,570</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>生徒の学力向上のため、学校教員向けの「学校授業教育研究」、生徒向けの「オンライン家庭学習支援」の2つの支援を実施し、学校・家庭と、異なる場での学力向上につながる事業を行った。</p> <p><b>【学校授業教育研究】</b> 若手教員を主な対象として、指導力向上のための各種取り組みを実施。令和5年度も兵庫教育大学名誉教授の長澤教授に依頼。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育委員会主催の中学校への指導主事訪問実施の際に、アドバイザーの立場で参加していただき、授業や学校運営に係る講習を行った。</li> <li>・中学校の研究授業に招き、授業についての指導講評を行った。</li> <li>・全国学力状況調査の結果を受けて、分析や周知方法について教務主任への研修を実施した。</li> </ul> <p><b>【オンライン家庭学習支援】</b> 民間教育機関に業務委託し、パソコンやタブレットを用い、少人数指導型のオンライン授業を提供した。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語・数学の2教科、各120分を15回</li> <li>・パソコンやタブレットを用いZoomで受講</li> <li>・参加者負担 1人10,000円</li> <li>・参加人数 中学生8人</li> </ul> <p>全授業終了後に行ったアンケートでは、全員が「とても満足している」「少し満足している」と回答されており、成績についても「上がった」「どちらかといえば上がった」という回答が100%という結果であった。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>4 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)</p>	<p>405 (参考：予算現額内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">当初予算額</td> <td style="text-align: right;">405</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">補正予算額等</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;">合計</td> <td style="text-align: right;">405</td> </tr> </table>	当初予算額	405	補正予算額等	-	合計	405	<p>340,400 (補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独 (補助制度名) 子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>中学校の学習において、家庭学習を含め生徒の自主的・積極的な学びを応援。生徒1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。</p> <p>〈内容〉 ○AIドリルの活用事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の習熟度に応じて、基礎・基本の定着から表現力アップまで幅広く、個別最適化された学習環境を提供</li> <li>・回答の正誤を自動で判断。誤った問題をピックアップし、解き直しによるつまずき解消へ</li> <li>・やる気を引き出す仕組み。学習意欲を促進し、振り返りや自ら学習することを習慣化へ</li> <li>・学習履歴をデータ化。学習状況・つまずきがひと目で把握できることにより、教職員による効果的できめ細やかな個別指導へ</li> </ul> <p>○導入台数</p> <p style="text-align: right;">216台</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	405									
補正予算額等	-									
合計	405									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>5 先端プログラミング教育推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.103)</p>	<p>886</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>886</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>886</td> </tr> </table>	当初予算額	886	補正予算額等	-	合計	886	<p>885,632</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>学習指導要領の改正によりプログラミング教育が必修とされ、社会の様々なところでDX化が進展するなか、授業においてSTEAM教育(※1)を提供することにより、Society5.0に対応できる人材の育成を行った。</p> <p>〈内容〉 小学校での体験をベースにITの素養や理解、論理的思考能力をさらに高めることを目的とし、実際にAIや機械学習などの分野で幅広く使われている「Python」というプログラミング言語を学習し、実際の開発に近い形を体験した。</p> <p>〈対象者〉 維孝館中学校1年生～3年生</p> <p>〈実施方法〉 プログラミング教室運営会社に委託実施</p> <p>※1「STEAM教育」 "science, technology, engineering and mathematics" すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語</p>	<p>学校教育課</p>
当初予算額	886									
補正予算額等	-									
合計	886									

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 ふるさと応援キャリア 教育事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.103)</p>	<p>530</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 1,060 補正予算額等 △ 530 合計 530〕</p>	<p>475,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名) 子どもの教育のための総合交付金</p>	<p>町内の企業と連携し、ふるさと納税の返礼品を開発するなど、中学校生徒が授業を通して、ふるさとへの愛着や誇り、まちづくりに関わろうとする自負の醸成や自分のキャリア形成を主体的に設計し、実現させていく力を育成した。</p> <p>〈内容〉 企業と連携し、ブレインストーミング等、協働的な学びを通して商品開発の授業を行った。 令和5年度は、株式会社上尾製菓の協力で、中学生が提案したアイデアの中から「コタツネコのラムネ」と「10円落雁」を商品開発した。</p>	<p>学校教育課</p>

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課						
<p>2 学びスイッチオン事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>50</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50</td> </tr> </table>	当初予算額	50	補正予算額等	-	合計	50	<p>27,642</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>町職員や町内在住のクリエイターを講師とし、プログラミングやものづくりの講座を開催。論理的思考力や創造力を養うとともに、その人や技術に触れることでシビックプライドの醸成を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○ものづくり編</p> <p>「ガラスを溶かしてオリジナル作品をつくろう ガラスフュージング体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.7.30(日) 参加者 小学生15名 保護者4名</li> <li>・講師：中山 知子 氏(chico硝子意匠)</li> <li>・内容：講師指導によるガラスフュージング体験</li> </ul> <p>○プログラミング編</p> <p>「親子で初級プログラミング 初めてのパソコン体験～魚がいっぱい泳ぐきれいな海をつくろう～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.11.19(日) 参加者 小学生10名 保護者8名</li> <li>・講師：企画財政課職員</li> <li>・内容：プログラミングソフト「Scratch」を使用したプログラミングの説明と実践指導</li> </ul>	<p>社会教育課</p>
当初予算額	50									
補正予算額等	-									
合計	50									

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 生涯学習推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.105)</p>	<p>1,172</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 1,632 補正予算額等 △460 合計 1,172〕</p>	<p>941,579</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔きょうと地域連携 交付金〕</p>	<p>少子高齢化、情報化社会の中で、一人ひとりが生きがいのある人生を過ごすことや自己学習の向上にむけて、「いつでも・どこでも・だれもが」学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習のまちづくりを推進した。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」          数年ぶりの年度当初からのスタートとなった。人数制限により行っていた講座も、環境に配慮しながら通常開催にて進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンライフカレッジ・ことぶき大学開講式 165,000円              大住シンフォニックバンドを迎えオープニングコンサートを開催。バンドメンバーより維中吹奏楽部へのメッセージ動画もプレゼントされた。</li> <li>・各種講座指導者報償 63,730円</li> </ul> <p>○学社連携推進事業等助成 195,619円          学社連携推進団体及び地域子ども会に対して助成金を交付し、地域での学校外活動を支援するものであるが、前年はコロナ多くの会の活動が中止となっていたが、活動を再開した会がほとんどとなった。</p> <p>○その他事務費 517,230円</p>	<p>社会教育課</p>

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)3 総合文化センター費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課														
<p>2 文化芸術公演等開催事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.107)</p>	<p>560</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>560</td> </tr> <tr> <td>補正予算額等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>560</td> </tr> </table>	当初予算額	560	補正予算額等	-	合計	560	<p>509,179</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>住民の文化・芸術の普及及び振興を図り、文化の香り高い地域づくりのために、総合文化センターさざんかホールにおいて、質の高い文化公演を提供した。</p> <p>〈内容〉 宝くじ文化公演『歌園迎賓館』 出演：太田裕美、庄野真代、稲垣潤一 主催：宇治田原町、自治総合センター</p> <table border="0"> <tr> <td>チケット販売枚数</td> <td>360枚</td> </tr> <tr> <td>前売り 一般</td> <td>356枚</td> </tr> <tr> <td>高校生以下</td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>当日券 一般</td> <td>3枚</td> </tr> </table> <p>※本公演は一般財団法人自治総合センターが行う宝くじ文化公演事業として採択されたため、会場運営経費等を除く経費は、原則として自治総合センターの負担により実施。</p>	チケット販売枚数	360枚	前売り 一般	356枚	高校生以下	1枚	当日券 一般	3枚	<p>社会教育課</p>
当初予算額	560																	
補正予算額等	-																	
合計	560																	
チケット販売枚数	360枚																	
前売り 一般	356枚																	
高校生以下	1枚																	
当日券 一般	3枚																	

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 図書館de多文化コミュニケーション事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.107)</p>	<p>300</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 300</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 300</p>	<p>298,512</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">府</span>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>きょうと地域連携交付金</p>	<p>国籍や民族に関わらず、国際交流の場としてボードゲームを活用したイベントを開催するとともに、外国語図書の整備を通して、相互理解を深めるための環境整備を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○外国語図書整備 子どもから大人まで幅広い年齢層が親しめる外国語図書(絵本・児童書・一般書)を整備。多文化理解の向上とともに外国語住民の図書館利用を図ることができた。 ベトナム語の図書23冊、中国語の図書22冊、英語の図書10冊、その他多文化の図書約50冊を購入。</p> <p>○多文化交流事業 年齢も言葉も関係なく楽しめるボードゲームを活用したイベントを開催。予想を上回る参加があった。また、ボードゲームイベントで使用するゲームを前もって10台購入した。</p> <p>日 時：R5.9.24(日) 13:30～15:40 参加者：31人(ベトナム人8人、ミャンマー人4人、中国人1人、日本人子ども9人、日本人大人9人)</p> <p>○国際交流事業(総務課実施) 国際交流という点で総務課と連携して事業を実施した。外国人に対してアンケートを実施することで、外国人から見た町へのニーズを把握できた。</p>	<p>社会教育課</p>

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 放課後児童健全育成事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.109)</p>	<p>26,632</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 25,929 補正予算額等 703 合計 26,632〕</p>	<p>24,132,875</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>〔国・府・単独 (補助制度名) 子ども子育て支援 交付金〕</p>	<p>勤務等により家庭での保育を受けることができない児童に対し、遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図った。</p> <p>〈内容〉</p> <p>○施設 田原児童育成施設 宇治田原児童育成施設(まるやま交流館)</p> <p>○開所時間 平日：下校時間 ～18：30 土曜日・学校休業日 7：30～18：30 ※土曜日合同開設 4月～7月、1月～3月 宇治田原児童育成施設 8月～12月 田原児童育成施設</p> <p>・田原元気っ子クラブ 平均登録人数 56人 1日平均 30.0人(※1)(延べ人数 8,749人) 開設日数 266日</p> <p>・宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 64人 1日平均 37.7人(※1)(延べ人数 10,962人) 開設日数 266日 ※1 両学童の開所日数(291日)で延べ人数を割って算出。</p> <p>〈参考〉R4年度利用実績</p> <p>・田原元気っ子クラブ 平均登録人数 52人 1日平均 29.6人(延べ人数 8,598人) 開設日数 251日</p> <p>・宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 64人 1日平均 39.5人(延べ人数 11,463人) 開設日数 267日 ※両学童の開所日数(290日)</p>	<p>社会教育課</p>

(款)10 教育費 (項)5 保健体育費 (目)3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 小中学校給食費支援事業費  (歳入歳出決算書 P.111)	21,690 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 - 補正予算額等 21,690 合計 21,690〕	21,244,250 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〕	物価高騰による保護者の経済的負担を軽減するための緊急的な措置として、2・3学期の給食費全額を町が負担した。  〈内容〉 ○補助期間 2・3学期給食期間 小学校 2学期78日、3学期48日 中学校 2学期73日、3学期46日  ○補助対象 田原小学校 児童延べ食数 2学期15,016食 児童延べ食数 3学期 9,315食 計24,331食  宇治田原小学校 児童延べ食数 2学期15,911食 児童延べ食数 3学期 9,835食 計25,746食  維孝館中学校 生徒延べ食数 2学期14,612食 生徒延べ食数 3学期 8,687食 計23,299食  ○給食費単価 小学校：280円 中学校：310円  ○金額 給食費全額分(2・3学期) 田原小学校 24,331食×280円=6,812,680円 宇治田原小学校 25,746食×280円=7,208,880円 維孝館中学校 23,299食×310円=7,222,690円 合計 21,244,250円	学校教育課

# 〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 特定健康診査等実施事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.147)</p>	<p>12,104</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 12,104</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 12,104</p>	<p>11,356,424</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・<u>府</u>・単独</p> <p>(補助制度名)</p> <p>特定健康診査等負担金</p>	<p>国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)等の早期発見を目的とした特定健康診査を行い、メタボリックシンドローム及びその予備群とされた方に対して特定保健指導を実施した。</p> <p>〈実績〉[速報値]</p> <p>○対象被保険者数 1,554人</p> <p>○受診者数 691人 (うち人間ドック受診者 111人)</p> <p>○受診率 44.5%</p> <p>○実施期間 令和5年7月～9月(予備月11月)</p> <p>※ 受診率の向上につなげるため、対象者への個別通知、積極的な広報のほか、健診期間中に受診行動別のセグメント分けをし、それぞれに効果的な媒体での受診勧奨通知を追加送付。</p> <p>〈参考〉</p> <p>令和4年度[法定報告値]</p> <p>○対象被保険者数 1,430人 ※確定値</p> <p>○受診者数 656人 (うち人間ドック受診者 177人)</p> <p>○受診率 45.9%</p> <p>○実施期間 令和4年7月～9月(予備月11月)</p>	<p>健康対策課</p>

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 生活習慣病予防対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.147)</p>	<p>963</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 963</p> <p>補正予算額等 -</p> <p>合計 963</p>	<p>170,461</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)又はその予備群と判定された被保険者及び糖尿病り患の恐れがある方を対象に、町保健師による保健指導を実施した。</p> <p>〈実績〉[速報値]</p> <p>◇特定保健指導(国基準)</p> <p>○対象者 102人</p> <p>うち積極的支援 22人、動機付け支援 80人</p> <p>○当該年度中の実施者 44人</p> <p>うち積極的支援 3人、動機付け支援 41人</p> <p>○次年度での継続指導を含む実施率 43.1%</p> <p>※ リスク発生者への積極的な働きかけにより、実施率の向上を図った。</p> <p>◇重症化予防保健指導(令和4年度より府基準)</p> <p>○対象者 11人 ○実施者 4人</p> <p>○実施率 36.4%</p> <p>〈参考〉</p> <p>令和4年度[法定報告値]</p> <p>◇特定保健指導(国基準)</p> <p>○対象者 91人</p> <p>うち積極的支援 18人、動機付け支援 73人</p> <p>○当該年度中の実施者 40人</p> <p>うち積極的支援 5人、動機付け支援 35人</p> <p>○次年度での継続指導を含む実施率 44.0%</p>	<p>健康対策課</p>

# 〈 後期高齢者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】

(款)3 保健事業費 (項)1 健康保持増進事業費 (目)1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 後期高齢者健康診査費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.165)</p>	<p>6,225</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 6,225〕</p> <p>〔補正予算額等 -〕</p> <p>〔合計 6,225〕</p>	<p>5,788,706</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<span style="border: 1px solid black;">その他</span></p> <p>(補助制度名)</p> <p>〔京都府後期高齢者医療広域連合健康診査費補助金〕</p>	<p>高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査を実施した。</p> <p>〈実績〉〔速報値〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象被保険者数 1,500人</li> <li>○受診者数 532人 (うち人間ドック受診者 36人)</li> <li>○受診率 35.5% (人間ドックを含む)</li> <li>○実施期間 令和5年7月～9月(予備月11月)</li> </ul> <p>※ 受診率の向上と「高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施事業」等につなげるため、対象者全員に受診票を送付するとともに、健診期間中に同事業のポピュレーションアプローチほかにて周知広報を実施</p> <p>〈参考〉</p> <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象被保険者数 1,412人</li> <li>○受診者数 500人 (うち人間ドック受診者 61人)</li> <li>○受診率 35.4% (人間ドックを含む)</li> <li>○実施期間 令和4年7月～9月(予備月11月)</li> </ul>	<p>健康対策課</p>

# 〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 湯屋谷配水管更新事業費(繰越)</p> <p>(水道事業会計決算書 P.27)</p>	<p>5,300</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>〔当初予算額 5,300〕</p> <p>〔補正予算額等 -〕</p> <p>〔合計 5,300〕</p>	<p>5,280,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・<b>単独</b></p> <p>(補助制度名)</p>	<p>湯屋谷地区への安定的な水道水の供給を行うため、老朽化した配水管更新の詳細設計を行った。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○配水管 HPPE φ125mm L=64.8m</li> <li>○水管橋 パイプビーム形式 L=5.4m</li> </ul> <p>〈事業費推移〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度 19,447,490円(うちR1繰越2,860,000円)</li> <li>・R3年度 4,070,000円</li> <li>・R4年度 26,821,300円(うちR3繰越16,210,700円)</li> </ul>	<p>上下水道課</p>

# 〈 下水道事業会計 〉

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課									
1 公共下水道(管渠)整備 事業費  (下水道事業会計決算書 P.24)	131,041 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 131,041 補正予算額等 - 合計 131,041〕	18,029,900 (補助単独の別) 〔国〕・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合 交付金	「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、下水道管渠の整備を推進した。  〈内容〉 設計積算、工事監理支援業務 一式  〈事業費推移〉   ・R2年度 112,477,100円 ・R3年度 91,742,200円 ・R4年度 8,737,800円	上下水道課									
2 公共下水道(管渠)整備 事業費(繰越)  (下水道事業会計決算書 P.24)	84,620 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 84,620 補正予算額等 - 合計 84,620〕	70,010,800 (補助単独の別) 〔国〕・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合 交付金	「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、下水道管渠の整備を推進した。  〈内容〉 ○管渠整備(面整備工事) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>面積(ha)</th> <th>延長(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工-5-1地区面整備工事</td> <td>0.71</td> <td>124.11</td> </tr> <tr> <td>禅-1-12地区面整備工事</td> <td>-</td> <td>43.26</td> </tr> </tbody> </table> ・舗装本復旧工事 一式  〈事業費推移〉   ・R2年度 80,284,900円 ・R3年度 176,210,200円 ・R4年度 138,723,800円	工事名	面積(ha)	延長(m)	工-5-1地区面整備工事	0.71	124.11	禅-1-12地区面整備工事	-	43.26	上下水道課
工事名	面積(ha)	延長(m)											
工-5-1地区面整備工事	0.71	124.11											
禅-1-12地区面整備工事	-	43.26											

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)3 処理場建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 処理場建設事業費</p> <p>(下水道事業会計決算書 P.24)</p>	<p>130,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 130,000 補正予算額等 - 合計 130,000</p>	<p>103,970,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合 交付金</p>	<p>「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、終末処理場の整備を推進した。</p> <p>〈内容〉 宇治田原浄化センターの汚泥脱水施設等の増設 ・監視制御施設(増設) ・汚泥脱水施設(増設) ・汚泥処理運転操作施設(増設) ・汚泥処理計装施設(増設)</p> <p>委託料 103,970,000円(日本下水道事業団へ工事委託)</p>	上下水道課
<p>2 処理場建設事業費(繰越)</p> <p>(下水道事業会計決算書 P.24)</p>	<p>57,000</p> <p>(参考：予算現額内訳)</p> <p>当初予算額 57,000 補正予算額等 - 合計 57,000</p>	<p>42,000,000</p> <p>(補助単独の別)</p> <p>国・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合 交付金</p>	<p>「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、終末処理場の整備を推進した。</p> <p>〈内容〉 宇治田原浄化センターの汚泥脱水施設等の増設 ・監視制御施設(増設) ・汚泥脱水施設(増設) ・汚泥処理運転操作施設(増設) ・汚泥処理計装施設(増設)</p> <p>委託料 42,000,000円(日本下水道事業団へ工事委託)</p>	上下水道課